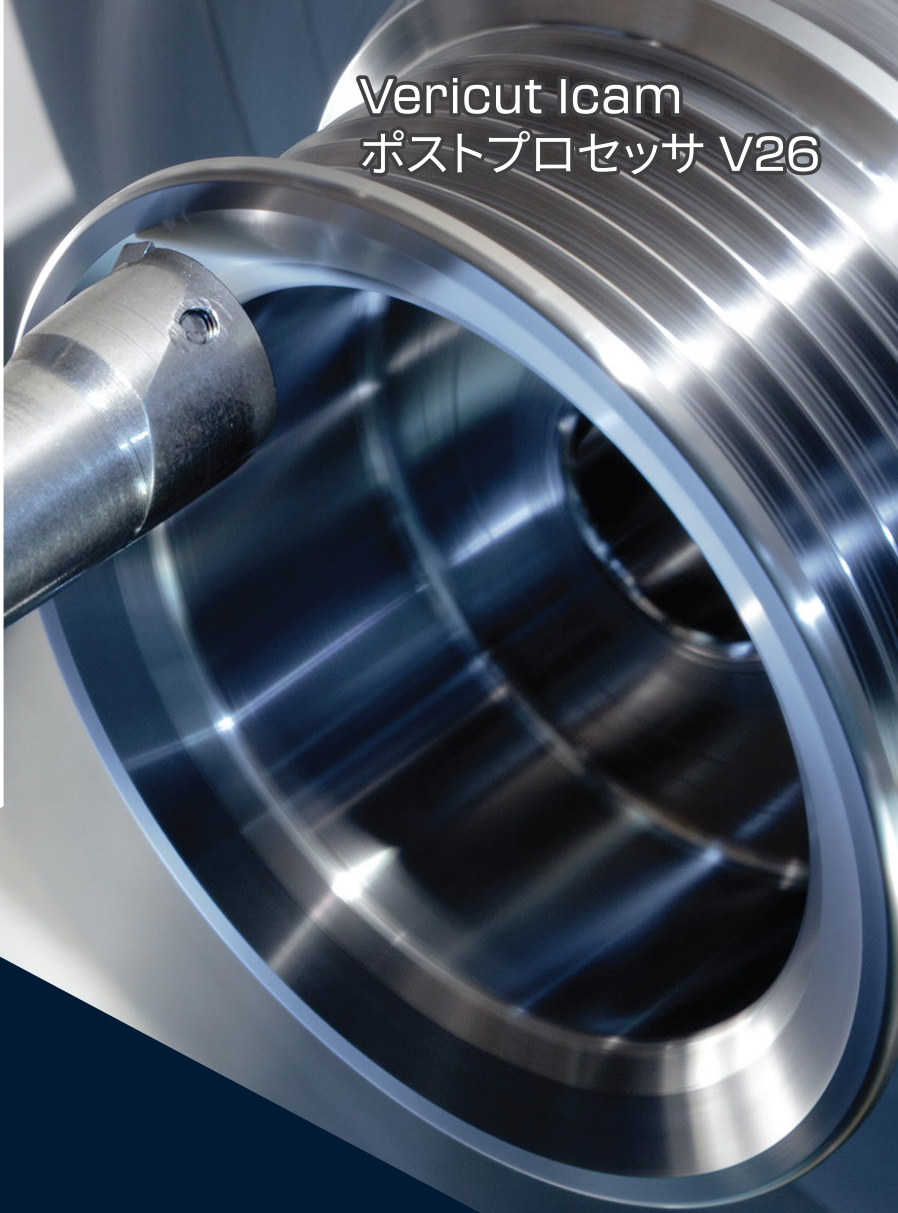




Vericut Icam
ポストプロセッサ V26

最新情報

Vericut Icam ポストプロセッサ V26

 Vericut

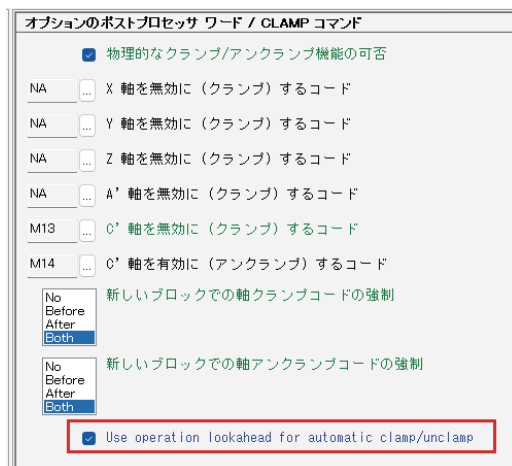
vericut.com/ja-jp/

回転軸の自動クランプ／アンクランプの改善

インデックス動作の前後における回転軸の自動クランプ／アンクランプを制御する新しいアルゴリズムが導入されました。全軸が同時に動作する加工では、自動クランプが自動的に無効化されるようにGENERが処理を行います。

また、必要に応じてマクロをカスタマイズできるよう、新たなシステム変数も追加されました。

さらに、各加工の開始時に先読みを行ってクランプ／アンクランプを自動処理する機能を有効にするため、QUESTのクランプセクションに新しい項目が追加されています。

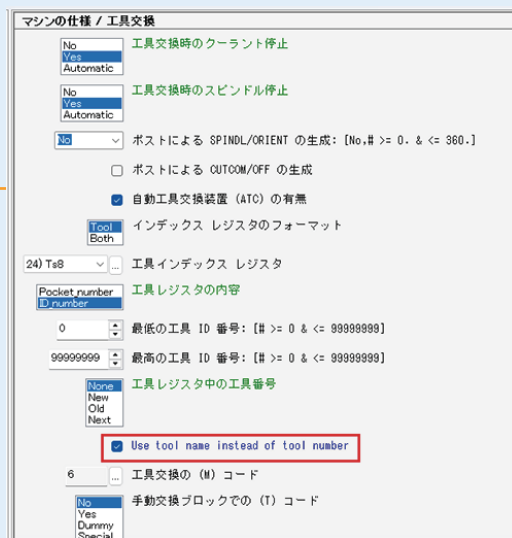


すべてのIcam製品における工具交換名のサポート強化

工具番号ではなく工具名を使用して工具交換コードを定義できるよう、QUESTの工具交換セクションに新しい項目が追加されました。この機能を使用する場合、特別な工具インデックスレジスタの設定が必要です。

QUESTでControl Emulator (CE)を設定する際にも、同様の設定によりNCプログラムから工具名を取得できます。REG_TOOLエイリアスを使用すれば、工具IDと工具名の両方に対応可能です。

このオプションによりVirtual Machine (VM) 上でも、工具名のみで定義された工具を正確に認識できます。



高速な情報先読みを可能にする新しいGENERマクロ関数

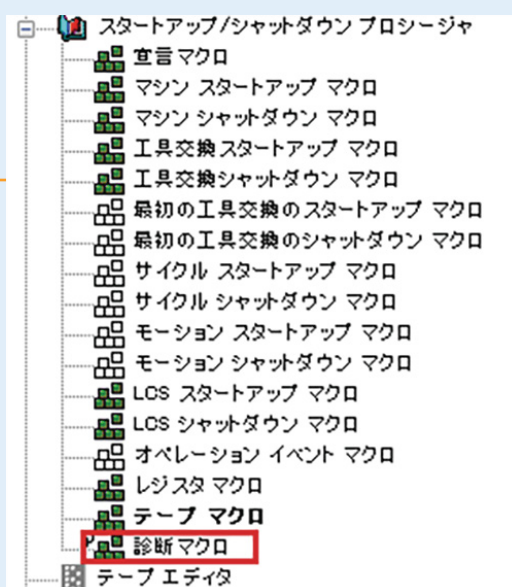
新しいマクロ関数 \$FCLINFO[] が追加されました。これは、今後のCL (カッターロケーション) データに関する情報を取得するための関数で、従来の \$FINFO[] と似ていますが、選択的に先読みを行うことで処理速度が大幅に向上しています。

GENERとCERUN向けの新しい診断イベントマクロ

QUESTのポストプロセッサのスタートアップ／シャットダウンセクション、およびCEのイベントマクロセクションに、新しい診断用イベントマクロが追加されました。

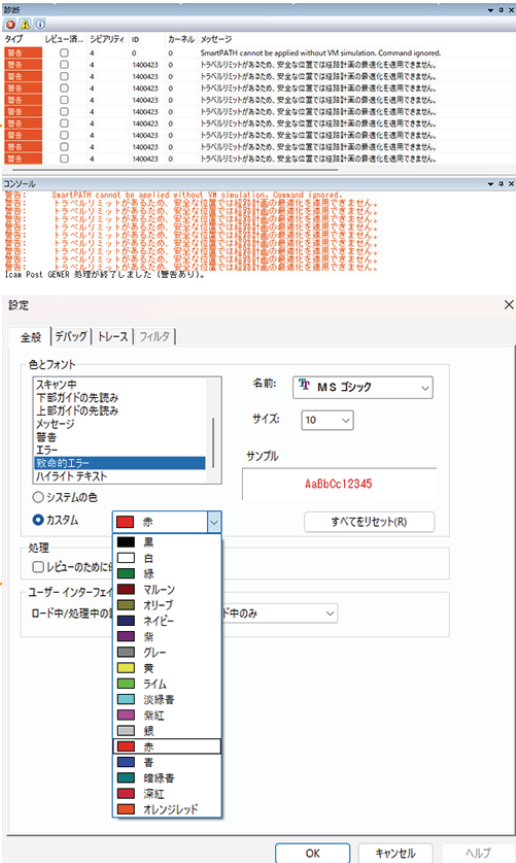
このマクロは、ポストプロセッサやControl Emulator実行中に発生する診断 (メッセージ、警告、エラー、致命的エラー) を「検出」できます。Virtual Machine使用時には、Virtual Machine内で発生する診断も検出可能です。

このマクロは診断が生成される前に実行され、エラーの重大度や番号、内容の変更、あるいは診断自体の無効化など、カスタム処理を行えます。また、発生回数の取得も可能です。



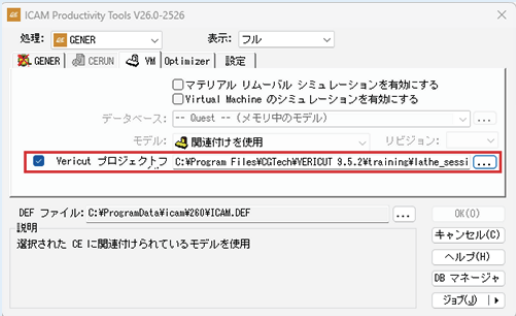
GENERとCERUNで診断の重大度に応じた色分けが可能に
GENERとCERUNが出力する診断（メッセージ、警告、エラー、致命的エラー）は、それぞれ異なる色で表示されるようになりました。

これらの色は、GENERおよびCERUNの[ツール]→[設定]ダイアログで自由に変更できます。



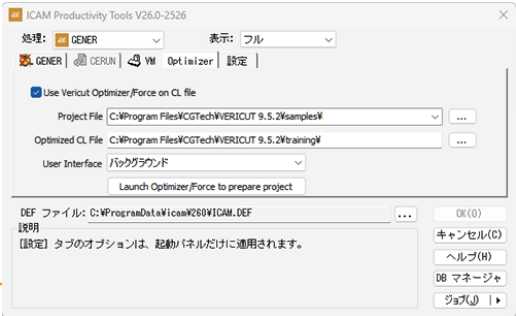
Vericut プロジェクトファイルを活用した、機械リミット・工具長の参照
Icam ポストとVericutを併用しているユーザーは、GENERの起動パネルから
既存のVericutプロジェクトファイルを参照できるようになりました。

これにより、補正値を取得してポスト処理時に反映させることで、工具長や
ストローク限界のより正確な算出が可能になります。



ポスト処理前の送り速度最適化
(Vericut オプティマイザー／Force対応)
Icam ポストとVericut オプティマイザー (VO) またはVericut Forceモジュール
を併用している場合、ポスト処理前にCLデータ (Gコードではなく) に対して送り
速度の最適化を行えるようになりました。

GENER起動パネルに新しく追加された「オプティマイザー」タブから、既存の
Vericut プロジェクトファイルを選択するか、ファイルがない場合はVericut
オプティマイザーを起動できます。



最適化完了後、GENERは最適化済みのCLデータをポスト処理の入力として
使用します。これにより、工程を大幅に簡素化でき、NCプログラムの後編集が
制限されている現場でも運用可能になります。



GENERにおけるLCS/AUTOの改善

5軸加工における穴あけ処理など、複数の工具軸方向を持つ場合に、自動的に傾斜面コード(LCS)を生成するアルゴリズムが改善されました。

また、SmartPATH、パスプランニング、ロータリーターンアラウンド(RTA)といった最適化機能で生成された動作との連携も向上しています。

SmartPATHによる安全な進入・退避動作の計算改善

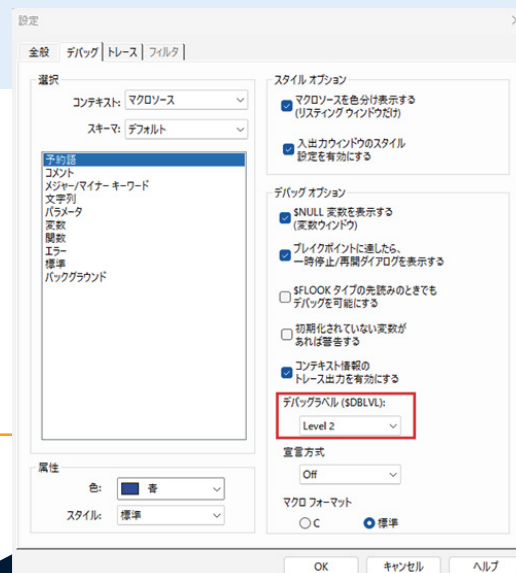
新しいSMARTPコマンド(SMARTP/SAFPOS)が追加され、工具交換位置や原点復帰位置におけるSmartPATH動作の開始／終了を制御できるようになりました。

これにより、工具の補正やStockへの安全なアプローチを支援する境界ジオメトリの定義が可能になり、安全性と精度が向上します。

GENERポスト処理中の多段階トレース機能の詳細化

GENERの[ツール]→[設定]ダイアログ内の[デバッグ]タブにあるマルチレベルトレースオプションが強化され、ポスト処理中のGENERの判断ロジックをより詳細に確認できるようになりました。

デバッグレベルを「Level 2」に設定すると、サイクル処理、円弧補間、ねじ切り、SmartCUT先読みなどに関する情報が出力されます。



加工ポテンシャルを 最大限に引き出しませんか？

今すぐ当社チームにご連絡いただき、
Icam ポストプロセッサの無料デモをご依頼ください。



株式会社CGTech
〒171-0021 東京都豊島区
西池袋1-5-3 エルグビル3F

Tel: (03) 5911-4688
Fax: (03) 5911-4689
info@cgtech.co.jp

システム要件は変更される場合があります。
最新の製品情報およびシステム要件については、Vericutのウェブサイトをご覧ください。
© Vericut 2025. 無断複写・転載を禁じます。VericutはCGTechの登録商標です。Printed in Japan.

vericut.com/ja-jp/